

生涯学習

人生とはすべてが勉強だと考えている
オヤジサーファーの生涯学習

「人生は山あり谷あり、
最悪の時期のぼくをサーフィンが助けてくれた!」



中学生のときに、

ヒッピーか水商売をやると決めていた。▶

親父は航空自衛隊で働いており、「特攻隊が…」というようなかたい家庭で、仕事柄、何回も転動していた。生まれは埼玉なんだけど、中学生のときには奈良にいて、中学校の進路指導の時に、第1志望はイージーライダーに憧れていて、ヒッピーやるぞって、で、第2志望が、飲み屋のオヤジだった。高校1年のときにはじめて伊勢でサーフィンしたんだけど、それから

へ(故村源勝宏)さんのメインハウスに所属して、高校時代はサーフィンに明け暮れていた。その頃、親父がまた転動になり、ぼくはそのまま分家して(笑)、奈良で一人生活を始めた。メインハウスには(千葉)公平さんやカメラマンの芝田(清之)さんがよく来ていた。そんな彼ら諸先輩たちのサーフィン談義をいつも聞かされていて、ぼくも世界中を旅したいと思うようになった。

ぼくはもともと関東なんで、20歳のときにゴッペ

スから声がかかったこともあり、湘南に移ったんだ。しばらくゴッペスにお世話になりながらコンテストをまわったり、プロテストを受けてみたりとか小生意気なことをやってみて、コリャあプロサーファーはダメだ、才能がないなって感じた。

それで25歳の時に、決心してノースアタック(ハワイ)に向かった。まず、サンディエゴに行き、スリバーで働きながら半年、そしてハレワイ、チャンズリーフ、ベルギーランドなど、住むところも点々として、いろいろな人に世話になりながらサーフィン放浪の旅を続けた。昼間は白人の大叔さんのところで働いていたので、それほど波乗り・波乗りの生活ではなかった。つこう3年間、一度も日本に帰らずに法澤でアメリカにいた。

帰国後にいよいよ念願だった水商売をスタートさせた。最初は辻堂で「きたろう」というお店を持つことができたんだ。そこのお店が繁盛しはじめたので、次にまたお店を出した。そうしたらそこもあたり、東海道沿線、茅ヶ崎・辻堂・藤沢・逗子と、各駅に1店舗ずつ合計5店舗経営するという、「マネーの虎」のような人間になっちゃった(笑)。最盛期には酒だけで年間1億1000円のお金を動かしていた。順風満帆という言葉を使えば、35歳の時がそれだったのかもしれない。

生意気かもしれないけど、羽振りが良かったし、今思えば調子に乗っていた。ところが人生そうそううまくいくはずもなく、38歳になったある日突然、天国から地獄に突き落とされてしまった。それから3年間、♥♥♥♥♥し。嫁さんも4人いた子どもも、そして家も店も財産もすべて失ってしまった。当然といえば当然だけど、♥♥♥♥♥る恐ろしさを身をもって知った。

♥♥♥したのが41歳の時。カタブツの父親からは勘当されるどころか「何とかやれ!」と励まされ、親のバックアップがあった店をはじめることができたんだ。その時、母親から「茅ヶ崎・辻堂では店を出すな!」って言われ、その約束を守って完全アウェイの大船にお店を出した。サーファーがまったくいなくて、会話を困る毎日…(笑)。それでも、精神的にもボトムにあったぼくを助けてくれたのがサーフィン。今でもショートボード一筋で頑張っている。■

■BALI伝説ホームページ: www.balibal-denetsu.com

波のある1週間の時間割(夏)

	月	火	水	金	土	日
8	祝	祝	祝	祝	祝	祝
9	波があれば食事もしないで一日サーフィン	波があれば食事もしないで一日サーフィン	波があれば食事もしないで一日サーフィン	波があれば食事もしないで一日サーフィン	波があれば食事もしないで一日サーフィン	波があれば食事もしないで一日サーフィン
10						土・日曜日は基本的に誰か人と食事・ショッピング
11						
12		食材の買い出し、店の用事を片付ける	食材の買い出し、店の用事を片付ける	食材の買い出し、店の用事を片付ける	食材の買い出し、店の用事を片付ける	食材の買い出し、店の用事を片付ける
13						
14						
15	食事					
16	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休
17	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休	6時半オープン、年中無休
18	お客次第で1~3amまで営業	お客次第で1~3amまで営業	お客次第で1~3amまで営業	お客次第で1~3amまで営業	お客次第で1~3amまで営業	お客次第で1~3amまで営業

KAZU

埼玉県出身、藤沢市在住、現在48歳、波乗り歴33年。大船・スポーツ用品店高橋屋(「BALI伝説」オーナー、妻と2人暮らし)。

「どうやって波乗りする時間を抽出する?」

お店は年中無休でやっているのだから、昼間、お店の仕入れのための買い物以外の時間をサーフィンに抽出している。「どうやってファミリーを説得する?」

妻はぼくの良き理解者。

「有給休暇のうまい取り方とは?」

はない。

「サーフィンをやめられないわけとは?」

ありません。